

令和4年度 第10回 若葉区区民対話会 概要

更科地区町内自治会連絡協議会との地域課題の解決に向けた意見交換

1 区長挨拶

2 意見交換

(区長) 本日は、皆様から地域の抱える課題を伺い、若葉区としてはどのような支援ができるのかを一緒に考えていきたい。

(1) スクラップヤードについて

(区長) 千葉市は「再生資源物の屋外保管に関する条例」を令和3年11月に施行したが、それでもまだ解決されていない問題もあるときいているので、実情を伺いたい。

○ヤードは若葉区にもたくさんあるが、隣接する四街道、佐倉、八街にもあり、周辺住民は大きな騒音に悩まされている。中国など、既に多くの海外資本が流入し、新たな施設の進出に歯止めが利かない状況となっている。いっそ特区などで無指定地区として、何を建てても良いことにすれば、優秀な企業が倉庫や資材置き場として利用するのではないか。

(区長) 千葉県にも条例制定の動きがある。制定されれば県内広く規制されることとなるが、千葉市でも条例制定後も騒音や臭い、大型トラックの往来等、まだまだ問題は残っている。

○大型トラックの往来が増え、家の前の道路が劣化しガタガタになっているが、補修が間に合っていない。また、深夜に大型トレーラーが住宅街の細い道に入ってきて騒音や振動がひどいが、規制も無いのか、住民は我慢するしかない状況なので、どうかしてほしい。

(区長) 振動などが続くと体に良くないと思うので、それも併せて所管に伝えていく。

○そもそもスクラップヤードの定義が良く分からない。鉄板で囲われ車や資材、重機等が置かれている施設が周りに5~6か所あるが、入口に会社名等の看板が何も設置されていないところもあり、ヤードなのかどうかも分からない。騒音対策や、きちんと看板を出させるなど許認可するうえでの規制を守らせないと、行政の役目を果たせていないのではないか。

(区長) 看板については、所管に対応を検討するよう伝える。

○雨水排水が道路側への傾斜により集まってくるが、隣接する四街道や八街からも集まってきて、汚染物質などが心配であるが、どこまで規制ができるのか。事前に設計図で確認したうえで許認可するなど規制すべきではないか。

○騒音がひどいが、業務停止など強い規制ではないので住民は泣き寝入りになっている。地主としても、ヤード業者から土地の高額買い取りについて申し出があったときに、生活に困っていれば売る方もいるが、それを売るなどは言えない。

(区長) 公害の問題も含めて、条例に盛り込むべきものは盛り込み、そうでないものは別の規制をかけるということも含めて検討するよう所管に伝える。

○現状の把握など、行政の横のつながりが悪いと感じるので、ぜひ改善していただきたい。今日話している内容は以前から住民が困っている問題であり、認識の程度で行政とのギャップを感じる。

○ヤードに出入りする外国人の方から、隣地の農家の方が「砂ぼこりがひどく体調が悪くなった」と言われトラブルになり、警察を呼んだということもあった。生活も脅かされている。

(2) 不法投棄について

○道路への不法投棄は市が処理してくれるが、私有地への投棄には手を出せないとされる。地主が困っているときに気持ちよく片付けてくれるのが、市の役目なのではないか。

(区長) 私有地内であると行政が勝手に処理することができないので、まず土地の所有者を確認して対応していくが、所有者と連絡がつかなかったり、何らかの理由によりすぐにアクションが取られない場合がある。

○自分が所有する土地に誰かが不法に投棄したごみについて、投棄した人が誰か分からなくて地主が困っているときは、市には積極的に対応していただきたい。地域には大量の不法投棄のごみがあり困っている。実情をしっかりと認識してほしい。

(3) 避難所運営委員会に期待すること

(更科地区連会長) 平成 27 年に避難所運営委員会ができた。震度 6 以上の地震や災害があった際の緊急避難場所や災害発生時の行動、役員・運営スタッフ等の資料を入れたファイルを作成した。今まで、地区連協や自治会で話し合う機会がなかったので、内容を改めてご確認いただきたい。

○下田分校は現在更地になっている。そこが避難場所に指定されているが、そこに避難して何ができるのか、その後どのように行動したらよいか疑問である。

○3 年前の台風災害の時に、電気が止まり水を区役所に取りに行った。避難所や水の配布、停電の復旧状況などの情報がほしかったが、区役所は対応が追いつかず、電気も電話もネットもつながらず状況であるにもかかわらず、あらゆることについて「逐次インターネットで確認してくれ」と言われ不満を感じた。都市部は被害が少なかったが、更科地区は大きな被害を受けた。区役所も混乱しており状況をあまり把握していないように感じた。

○谷当・旦谷・下田の災害のスピーカーは聞こえないが、どのように情報を共有するのか。災害ラジオは町内に 1 個しか配布されていない。高齢者がラジオを聞きに長い距離を歩くのは困難なため、各戸に配布できないか。地域の隅々まで情報を届けることは難しい。

○防災行政無線については、谷当・旦谷・下田の 3 町で、聞きにくいという要望を何度も出しているが、所管からは、現在デジタル化を急いでいるので、アナログ方式の設備の増設・改修はできないという回答をいただいている。現状は防災ラジオを配布するので対応いただきたいとのこと。それは少し乱暴だと思う。

(区長) 場所によって、スピーカーの位置や向きの問題もあると思うので、改善できるものはしていきたい。

○集落排水を利用している。災害時には、水は出るが電気が止まると下水のポンプが動かないためタンクがいっぱいになり溢れてしまう。そういう情報を集落排水利用者によく周知いただきたい。

○地域振興課の職員は、若葉区内をぐるぐる回って地域の実態を直接見て聞いて、よく把握していただきたい。

(区長) 4 月から地域担当職員が 1 人 2 地区を担当し、実際に現場を見て地域の方と意見交換して、一緒にどうしたら良いか考えていくということに取り組みたいと思っている。

○農政センターから、農業組合長に実態調査を依頼され各農家の農地の保有状況などの情報が記載されたリストが渡されるが、現状、個人情報の取扱いに問題があるのではないかとと思う。

(区長) 本日は、細部にわたり地域の状況をお話しいただく良い機会になった。いただいたご意見は、所管につなげるとともに、区役所に対応するところはしっかりと対応していきたい。

以上